

## 令和7年度 第3回青梅市ジェンダー平等推進計画懇談会 議事録（概要版）

### 1 日 時

令和8年1月29日（木） 午後2時00分～午後2時40分

### 2 会 場

市役所2階 災害対策本部室

### 3 出席委員

加藤委員、大野委員、原委員、原崎委員

### 4 欠席委員

なし

### 5 議 事

#### (1) 報告事項

ア 令和6年度青梅市ジェンダー平等推進計画進ちょく状況報告書について

イ 令和8年度ジェンダー平等関連事業スケジュールについて

#### (2) その他

### 6 資 料

資料1 令和6年度青梅市ジェンダー平等推進計画進ちょく状況報告書

資料2 令和8年度ジェンダー平等関連事業スケジュール

## 令和7年度 第3回青梅市ジェンダー平等推進計画懇談会

### 開会

司会者挨拶

傍聴報告（傍聴者1人）

配布資料確認

### 会長挨拶

### 報告事項

令和6年度青梅市ジェンダー平等推進計画進ちょく状況報告書について

（会長） 次第の2、報告事項（1）令和6年度青梅市ジェンダー平等推進計画進ちょく状況報告書について、事務局から説明をお願いします。

（事務局）資料1は、令和5年3月に策定した青梅市ジェンダー平等推進計画の、令和6年度進ちょく状況等を取りまとめた報告書となり、第2回懇談会で協議した進ちょく状況に対する懇談会評価に加え、青梅市ジェンダー平等推進計画の体系や、審議会等への女性参画状況なども載せている。

報告書の構成は、第1章に、計画の概要、計画の体系、事業計画一覧。第2章として、第2回懇談会において評価した市の取組について。そして第3章で、政策決定過程への女性の参画状況となっている。こちらは後日製本し、委員の皆様へ配布する。

そのほか、全職員に対しメールによる周知と、ホームページへの掲載を実施する。

（会長） 青梅市ジェンダー平等推進計画の進ちょく状況報告書について、事務局より説明があった。資料は事前に配布され、委員の方は目を通して思うので、順を追って、全体の確認をしていきたい。

第1章の内容は、何度も確認してきているため問題はないと思う。

第2章は、事業に対する評価と、それに対するコメントの内容をあらためて確認する。

<第2章の評価を確認>

評価とコメントに対し、何か意見のある人は。

第2回懇談会の際、1階の女性用トイレにデートDV被害についての啓発カードがなかったが、今回は置いてあることを確認した。

(副会長) 32ページ「課題4 生涯を通じた心と体の健康支援」と、33ページの「課題5 様々なマイノリティの支援」が、同じ評価コメントとなっている。

(会長) 事務局より、正しいコメントをお願いします。

(事務局) 「課題5 様々なマイノリティの支援」の正しい評価コメントは、「働く外国人が増加し、言語も多様化してきていることから、ホームページで使用する言語の拡充について検討を進められたい。」となっている。一重丸は変更がない。

(会長) 働く外国人が、着実に増えているという現状から、使用言語の拡充となった。  
他に修正点は。

<第2章に関し、他の修正点なし>

(会長) 修正がなければ話を進める。

第3章、政策決定過程への女性の参画状況についてはいかがか。審議会や委員会によっては、女性委員が0%というところも見受けられる。女性委員の割合が3割を超えてくると、女性の参画が増えてきたという実感が出てくるが、その3割越えが難しい。

(委員) 女性委員が少ないのは、申込み自体がないのか、女性の人数が決まっているからなのか。

(事務局) 公募委員の場合、全体的に女性の応募者が少ない。

(委員) 専門的な内容を取扱う委員会は、専門職の男女比に左右されることが多いと思う。こども・子育て会議などで女性委員の割合が増えないと、3割越えは無理なのではないか。

(事務局) 各団体より推薦をお願いします委員の場合、市から性別を指定することはない。そのため、推薦団体に男性が多い場合は、男性が選出される割合が高くなってくる。

(会長) その場合、会議の内容が専門的であればあるほど、団体からの推薦は、男性が多くなると考えられる。

(会長) この報告書は、青梅市のホームページに載せるかたちで市民へ周知すると聞いている。

(委員) 広報に載せるなど、ホームページ以外の方法で周知する予定はないのか。

(事務局) ホームページのみによる周知を行う予定である。

(会長) 昨年、学校でも積極的に周知すべきという意見があったと思う。やはりホームページだけにとどまらず、さまざまな方法で市の取組みを周知できたら良いのではないか。

(会長) 他に意見がなければ、報告事項(1)令和6年度青梅市ジェンダー平等推進計画進ちょく状況報告書について終わりとする。

#### 令和8年度ジェンダー平等関連事業スケジュール

(会長) 続いて、報告事項(2)令和8年度ジェンダー平等関連事業スケジュールについて事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料2は、令和8年度に計画しているジェンダー平等関連事業の主なスケジュールとなっており、中段に記載した地域女性活躍推進事業は、今年度と同様に女性リーダーのためのスキルアップ研修と、リーダーのための組織活性化セミナーを実施するほか、女性活躍のロールモデルとなる人や企業によるパネルディスカッションも引き続き行う。特に、パネルディスカッションは、ロールモデルの経験や考えを直接聞くことができる良い機会であったと、同日開催したコミュニケーションの勉強会と合わせ、参加者から好評いただいた事業だった。このため、今後も青梅商工会議所と連携し、事業の拡充に向けた協議を行っていく予定である。

このほか、職員にジェンダー平等の意識を根付かせるための職員研修や、ワーク・ライフ・バランス研修についても、引き続き実施していく。

新たな取り組みとしては、3月8日の国際女性デー近辺に、女性活躍やジェンダー平等に関する講演会を開催する。

なお、会議日程や各講座等の実施日は、今年度の実施状況を参考に設定した。

報告事項(2)の説明は以上である。

(会長) 事務局より説明のあった、令和8年度のジェンダー平等関連事業スケ

ジュールの概要について、質問のある人は。

<質問なし>

(会長) 女性活躍推進事業については、以前よりもセミナーの回数や、ロールモデルによるパネルディスカッションが増えており、良い傾向だと思う。

他になれば、報告事項(2)令和8年度ジェンダー平等関連事業スケジュールについて終わりとする。

(会長) 次第の3、その他について事務局から願います。

(事務局) 令和7年度の懇談会は、本日が最後となる。

また、令和8年度は委員改選の年度となることから、現委員による懇談会も最後となる。令和6年度から2年間、または1年間にわたり、青梅市ジェンダー平等推進計画の推進に対し、貴重な御意見を賜り、感謝申し上げます。

(会長) 事務局からもあったように、本日が令和7年度最後の回だった。最後に、御意見や御感想があればお願いしたい。

<特になし>

## 閉会

(会長) 本日の議事についてはすべて終了した。今年度も貴重な御意見をいただくことができた。

以上をもって、令和7年度第3回青梅市ジェンダー平等推進計画懇談会を終了とする。

閉会